

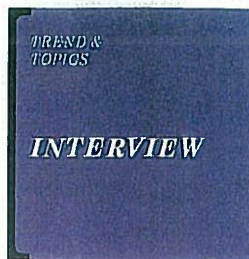
みんなで力を合わせて  
変えましょうよ、  
この日本を、世の中を。



### 塩川正十郎

しおかわ・まさじゅうろう  
●1921年、大阪府生まれ。慶応義塾大学卒業。1967年、衆議院議員初当選、以後11回当選。数々の大臣・要職を歴任。2001年、小泉内閣誕生とともに財務大臣に就任。2003年、政界引退。東洋大学総長。現・武士道協会理事長。

## よりよい社会を作るために 私たちが学ぶべきは 武士道の精神だった



しては自らを殺してでも尽くすべきだと教えられた。今の人にそこまでやれとはいませんが、少なくとも、国が自分たちのために尽くしてくれるのが当たり前だ、という考えは捨ててほしい。

——武士道精神を理解し、考え方の規範とすれば、社会を変えることができるとお考えなのですね。

塩川 そうです。そのために当協会は、武士道精神の理解をより深めていただくために「武士道憲章」というものを策定しました。そして、この規範をもとに、現代社会が抱える諸問題、例えば政治では「贈賄」や「政治資金不正利用」、家庭では「児童虐待」「育児放棄」、教育では「学校崩壊」「いじめ」、企業では「偽装問題」「社会に防ぐ常殺人事件」の発生を未然に防ぐことのできる社会づくりに取り組んでいきたいと考えています。

特に、戦後生まれの人たちには、あらためてこの武士道精神を理解し、後世に伝え、残していつて欲しいと思います。こうした考え方が社会全体に広がれば、おのずと社会はいいほうに向かって行くと思うし、これからの人生も変わると思うのです。

——ありがとうございます。

NPO法人武士道協会は、日本独自の文化・伝統により育まれてきた倫理・道徳観であり、近代日本発展の精神的礎である「武士道」を、現代の日本人の心に即してよみがえらせ、高潔な志を持った人づくりを通じ、真に世界に誇れる社会を築きあげていくことを目的として2007年、発足。シンポジウム・講演会・セミナーの開催や、会報誌(写真は創刊号の表紙)の発行など、多彩な活動を展開している。



日本固有の精神である「武士道」を通じ、現在の日本人に「思いやり」の心、「自己責任」という考え方を正しく理解し、自覚してもらうことを目的に設立されたNPO法人武士道協会。そこで理事長を務める塩川正十郎さんに、武士道という考え方、その活動の目的などを伺った。

——塩川さんは、「武士道協会」の理事長を務めておられますが、ご自身は、「武士道」というものをどのようにお考えですか？

塩川 戦後民主教育のなかで、かなり誤解されている節があると思いますが、武士道は、日本独自の文化・伝統により育まれてきた倫理・道徳観で、近代日本の発展を

支えてきた精神的なよりどころであると、私は考えています。

その点からいくと、武士道には大きく分けてふたつの核がある。ひとつは、社会的な責任をいかに果たすか。当時の武士は身分が高かったので、その身分にふさわしい振る舞いなり、人々の模範となる必要があった。

それともうひとつは、自己責任という考え方。簡単にいえば、何でもかんでも人のせいにするな、ということですね。武士はどのような災難が降りかかろうとも、すべては自分の責任だと考えて行動していたのです。

——つまり「倫理観」「道徳観」が今の日本人には欠けていると思つていらっしゃるのですか。

塩川 太平洋戦争に敗れてからというものの、そうした概念は急速に消えていったと思います。

戦争中の恐怖政治から一挙に解放され、精神的に虚無的な状態が長く続いた国民は、貧困から脱却すべく、生活努力のすべてを経済活動に注ぎ込み、利己主義に徹したことで低俗な風潮が蔓延した。さらに、その後の高度経済成長の成果にあぐらをかいてしまったため、「もんで栄えて魂で滅ぶ」という、さながら魂が抜けた状態

となつてしまった。

それが証拠に、今の日本人には国家・社会のために尽くす「公共精神」や、「自己責任」などという考えを持っていない人が多くなっている。本来は、国家のために尽くすことを生業とする政治家にしても、自分さえ良ければいいという人が増えているのは悲しいこと。だから、ひと昔前では考えられないような凶悪な事件や深刻な政治・社会問題が頻発するんです。

——現在のような荒廃した社会を正常に戻すためには、武士道精神が必要だということですね。

塩川 そういうことです。皆さんは新しい事件や問題が起きると、法律をもっと厳しくすればいいのではないかと考える。しかし、法律で人間の行動を縛るといふのは、おのずと限界があります。

だから、世の中を正常に戻すために、そもそも不正が起らないような、もつといえは、不正をやろうという気にならないような社会にしなければならぬ。それには、武士道にあるような「公共精神」と「自己責任」の考え方が必要なのです。

われわれ戦前生まれの人間が受けた教育では、「滅私奉公」という言葉があつたように、国家に対

### 【 武士道憲章 】

- 一、武士道は志を尊ぶ
- 二、武士道は志を尊ぶ
- 三、武士道は公正にして信義を守る
- 四、武士道は自己陶冶に励む
- 五、武士道は忠誠心を堅持する
- 六、武士道は剛直をもつて節とする
- 七、武士道は側近の情を心に感ずる
- 八、武士道は礼節を重んじ、恥を知る
- 九、武士道は天地自然の理法に生きる
- 十、武士道は天地自然の理法に生きる

立志 清明 正義 修養 忠誠 剛勇 仁愛 廉恥 超越 自然

武士道協会の理念を象徴する「武士道憲章」